



令和 7 年 9 月 10 日

総合政策局国際政策課

国際交通フォーラム（ITF）との政策対話を開催

～インクルーシブでレジリエントな交通に向けた連携強化を進めます～

国土交通省は9月5日（金）に日本・東京において、「国際交通フォーラム（ITF）との政策対話」を開催しました。

本会議では、サプライチェーン強靱化、ジェンダー主流化等の分野における交通政策について、これまでのITFと我が国との連携した取組みを踏まえながら活発な議論が行われ、インクルーシブでレジリエントな交通に向けた連携を強化し、今後も協力関係を継続していくことについて一致しました。

※ ITF は、2006 年、欧州運輸大臣会合がグローバルな組織に改組する形で設置された、OECD（Organisation for Economic Co-operation and Development：経済協力開発機構）傘下の組織です。69 の加盟国に加え、民間企業、有識者等が交通政策に関するハイレベルかつ自由な意見交換を行うとともに、交通に関する調査研究を行っています。陸・海・空、全ての交通モードを扱う唯一の国際機関です。

1. 日 程 : 令和 7 年 9 月 5 日（金）15：00～17：00
2. 場 所 : 中央合同庁舎 2 号館 12 階国際会議室
3. 出席者 : ITF キム事務局長、日笠国際統括官 他
4. 議 題 : インクルーシブでレジリエントなサプライチェーンの構築、ジェンダー主流化の取組について 等

（講演資料掲載先）

以下の URL において、本政策対話の資料を掲載しています。

https://www.mlit.go.jp/kokusai/kokusai_tk1_000023.html



【お問い合わせ先】

総合政策局 国際政策課：原口、小川、田中

TEL：03-5253-8111（内線 25927、25724） / 直通：03-5253-8318

会議の概要

これまでの ITF と我が国との連携した取組を踏まえながら、インクルーシブでレジリエントな交通に向けた連携の強化に向けて、以下の各分野について議論。

■ サプライチェーン強靱化

本政策対話や ITF サミット 2025 での国際物流に係る国土交通省主催のサイドイベント等を通じた ITF との協力関係継続について確認、意見交換を実施。

具体的には、

- ・ コネクティビティ（輸送の効率性・接続性等）の向上、脱炭素化の加速、レジリエンスの強化等、複数の要素を視野に入れて進める必要があること、
- ・ 中央アジアという地域的なポテンシャルを活かしていく必要があること、
- ・ 中央回廊をはじめとする新たな輸送ルートの活用促進を図るべく、新たなルートに対する日系事業者等の認知度向上に向けた情報発信など、官民連携した取組を進める必要があること

等について、意見交換を実施。

■ ジェンダー主流化

本政策対話や「国際女性デー」に関する国際会議を通じた今後の ITF との協力関係継続について確認、意見交換を実施。

具体的には、

- ・ 交通政策・サービスを検討する際には、男女の移動パターンの差（買い物や子供の送迎、通勤等）を踏まえる必要があること、
- ・ 災害やパンデミック等の非常時では男女差が増幅する可能性があること、
- ・ ジェンダー主流化は女性のみならず、男性も含めた社会全体の利益となること

等について、意見交換を実施。

■ ITF 交通アウトルック

交通の脱炭素化に向けて、3つのシナリオ（脱炭素化に向けた現状の取組が継続される場合、取組が加速される場合、取組が最大限実施される場合）を考慮し、政策立案を行う必要があること等について、意見交換を実施。